



農業水路に転落したカエルの脱出ネットを開発

—地域が協働で、環境に配慮した農業を進めることができます—

開発の背景・ニーズ

水田生態系は生物多様性の高い環境として注目されています。しかし、水田周りのコンクリート水路は、カエル類などの小動物が転落すると脱出が困難となり、生態系への悪影響が懸念されていました。そのため、地域で手軽に取り組める簡易なカエルの脱出装置の開発に取り組みました。

成果の内容

絶滅危惧種であるナゴヤダルマガエルは、脱出能力が低く、水路壁面が凸凹していても、水路からの脱出が困難です。そこで、ナゴヤダルマガエルでも脱出できる装置（脱出ネット）を考案しました。脱出ネットは、ポリエチレン製ネットを角材等で水路に固定する単純構造です。材料費は約6,000円で、設置時間は4人で約30分、設置後の維持管理はほとんど不要です。地域の協働で取り組めるよう、設置のポイントや手順をまとめたハンドブックを作成しました。

水路に転落したナゴヤダルマガエル (県絶滅危惧Ⅱ類)

脱出ネットは地域の意見も取り入れ考案

脱出ネットで田んぼにカエル

ポリエチレン製ネット

側面図

断面図

脱出ネットの構造

角材 鋼製束

測定鋺+ビス

ネット

ハンドブック

- 豊富な写真・図でやさしく解説
- 水路の型別に2種類作成
- 全活動団体に配布
- Webページでも公開

地域の共同活動で実践！
田んぼにカエルの脱出ネットハンドブック (組立水路Ⅰ型用)

脱出ネット水路Ⅱ型用

愛知県農業への貢献

この技術による取組により、地域の生態系の維持に配慮した農業生産に取り組まれることが期待されます。